

黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：シェカール・メータ
 第 2550 地区ガバナー：石田順一
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142
 宇都宮グランドホテル内
 TEL: 028-651-2550
 FAX: 028-651-2551
 E-mail: m2550@agate.plala.or.jp



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

会長：荒牧明二 幹事：安藤譲治
 事務局：食健サロンの塩梅
 代表：安藤譲治
 〒325-0055 那須塩原市宮町2-8
 TEL: 0287-73-5101 FAX: 0287-73-5102
 E-mail: hideki_akiba@akibacorp.com
 例会：国民の祝日を含まない週の水曜日
 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2934回 荒牧年度 第6回（第3回オンライン例会）会報 2021-9-8 司会村山茂君

会長挨拶 荒牧明二会長



皆様こんにちは。「スリーアギトス」赤・青・緑の三本の曲線からなるパラリンピックのシンボルマークの名称です。この三色は国旗で最も多く使用されている色だそうです。曲線は「動き」を象徴し、「アギト」はラテン語で「私は動く」と言う意味だそうです。

日本のメダルの数は、金メダル13・銀メダル15・銅メダル23を取りましたが、あと一歩でメダルが取れた選手、メダルは取れなくとも自己最高記録をだした選手、パラリンピックに参加することができた選手、全ての選手が必死に頑張った大会ではなかったでしょうか。

約4,400人の選手が躍動し切った、第16回夏季パラリンピックが5日に閉幕しました。閉会式のコンセプトは「調和する不協和音」「違いがあることで対立が生じるのではなく、新たな未来が生まれていく」との意味をこめたそうです。

閉会式に臨んだ各国選手団は、車椅子で踊り、手旗を振り、「ありがとうーキョー」と叫ぶ声も聞こえました。国籍や人種、性別、年代が異なるように、障害の有無は特別なことではない。多様性と調和を象徴した聖火は、静かに消えました。

パラ競技ルールやギアの存在は、私たちに障害者に対する合理的配慮の在り方を教えてくれました。ルールなどで補えば、高い競技性を、実現することを見つけた。日常の暮らしでも合理的に配慮さえ徹底されれば、障害者の可能性はもっと広がるはず。競技を通して、私たちに実感させてくれたことが、身近な自国開催の東京パラの最大の成果だったのではないのでしょうか。

私の感動した種目はたくさんありますがその一部を話します。「両手足がないフェンシング選手」と呼ばれる、イタリアのピオ選手は「自分を信じてハードワークすればやりたいことは何でもできる」と。卓球に出場したエジプトのハマド選手は。「不可能はないということを証明したい」、両手が無い彼は足の指でボールを挟んでサーブのトスを上げ、口にくわえたラケットで打つ姿に心打たれました。またアメリカの車イスのクラスのメダリスト、マクファーデン選手のモットーは「私にはできる」「レースでの強さだけでなく、私の折れない心を見て欲しい」。すばらしい言葉です。

また、日本人最年少の山田美幸選手、2個の銀メダルを取りました彼女は両手が無く足で水を蹴り泳ぎします。「普通の中学生で、水泳をしてなかったら、経験できない夏休みになったと思っています」と語っています。

最終日に行なわれた通称ブラインドマラソン女子の道下美里選手見事金メダルに輝きました。レースをテレビで見ていると、「GUIDE」と書かれたゼッケンを着けて選手とロープを握り合いながら走る人の姿がありました。伴奏者とも呼ばれている人たち。道下選手はレース後のコメントで「最高の伴奏者と最強の仲間がいたので、ここにたどり着いたと思っています」と述べています。伴奏者は道案内だけでなく、ペースメーカーとなり、能力を最大限に引き出す励ましの声掛けなども行なっているのです。

出席報告 出席委員会 君 (出席規定の免除会員数7名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 9月8日	37 (7)	37 (7)	0 (0)	100%		
前回 8月25日	37 (7)	37 (7)	0 (0)	100%	0	100%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
 メール qavn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

一つ一つ挙げますと枚挙にいとまがありません。パラリンピックの評価は、良かったと評価した人70% 良くなかったと評価した人25%でした。良くなかった人に理由を聞きたいです。私は一人ひとりを感じさせるパラリンピックであったと思います。

私たちは、一人だけでは生きていくのは難しい。だからこそ、皆で支え合い応援し合い、皆が誰かの伴奏者として、一人一人が輝ける「共生」の社会を築いていきたい。

以上で会長挨拶を終わります。有難うございました。

委員会報告 稲垣政一副会長



委員会報告をお持ちの方は挙手願います。
該当無

幹事報告 安藤譲治幹事



理事役員会報告

8月25日ZOOMで開催された第2回臨時理事役員会の報告です。

- 9月中の例会の対応について
9月1日の例会は休会、8日・15日・29日はZOOMによる例会とする。
29日のガバナー公式訪問のガバナーへの対応は会長へ一任する。

- ZOOMのアカウントについて
アカウントの使い回しは不可のため、クラブとしてパソコンを購入して、ZOOMのアカウントを契約する。
決済に関しては会長に一任する。
- 富田ガバナー補佐から、IM参加意向の問い合わせがありました。
来年の2月だとまだわからないが、現状だと大勢で集まるのは難しい。
中止が無難だというのがクラブの意見。として伝える。

幹事報告

- 地区インターアクト委員会よりインターアクト交流行事の案内が届いています。
鈴木隆子青少年奉仕委員長に転送いたしました。
- ガバナー事務所より、佐賀・長崎豪雨災害支援金の協力依頼が届いています。
今日の理事役員会で協議します。
- ガバナー事務所より、地区大会顕彰 ガバナー賞受賞と2020-21年度R財団、Every Rotarian, Every Year/100%ロータリー財団クラブ受賞の案内が届いています。

最後に、本日例会終了後、第5回理事役員会を開催します。ZOOMをログアウトしないでそのままお残りください。

卓話 吉光寺政雄会報委員長



皆様、こんにちは。会報委員長の吉光寺です。本年度会報委員会は、副委員長に鳥居さん、委員に高木慶一さん、藤崎さん、瀧田さんの5名で活動しています。

会報委員会から皆様に改めてお願いがあります。毎年のことですが、例会後、できれば当日、遅くとも翌日には原稿をお送り頂きますようお願い致します。日曜日までの配信を目標にしていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、本日は外来卓話として(有)フローリスト

花子若林竜一様をお迎え致しました。

若林様は現在38歳、市内六差路近くにありません。フーリスト花子の代表取締役をお務めです。

来年度は黒磯那須青年会議所、いわゆるJCの理事長に就任予定です。JCが終わったらロータリーに、とお誘いしているところです。

本日はリモートによる卓話ということで、少々やりにくいところもあると思いますが、若林様宜しくお願い致します。



ただ今ご紹介いただきました、若林竜一と申します。本日はどうぞよろしくお願い致します。

最初に簡単に自己紹介をさせていただきます。まず私の顔ですが非常に濃くて、よくインド人とかフィリピン人と言われることが多いのですが、父も母もおじいちゃんもおばあちゃんも日本人で、私もれっきとした純日本人です。ちなみに中学校の時のあだ名はカレーの達人です。よろしくお願い致します。

年齢は38歳、既婚、子供が3人います。上から小学校6年生、同じく5年生、そして1歳です。3人とも男の子で毎日騒がしい毎日を送っています。女の子がどうしても欲しかったのですが、私には縁がありませんでした。しかし、奥さんがまだ若いので、チャンスがあればまた頑張ってみようかと思っています。

若い頃は学生からずっとやっている野球が趣味だったのですが、そのなごりで最近はスポーツ観戦をよくしています。コロナ前は球場に行ったりしてスポーツ観戦を楽しんでいたのですが、今はもっぱらTV観戦です。スポーツと言えば東京オリンピック、パラリンピックが今年開催され、日本は過去最高の金メダル数、そして総獲得数でも過去最高となり、日本中を盛り上げました。

高校野球においても甲子園で無観客ではあるものの2年ぶりに開催されて、最終的には姉妹校同士の決勝での智辯対決となり、和歌山県の智辯学園和歌山高等学校が優勝を果たしました。

優勝をするとマウンドの真ん中で和をつくって、優勝の喜びを表現したりするのですが、智辯和歌山の球児はそれを一切しないで、対戦校に

しっかりと礼をして終わるという相手をうやまう礼節を大事にした姿勢を賞しました。

私としては非常に感銘を受け、今年はスポーツから勇気と元気をたくさんいただいております。

それと最近料理が趣味で晩御飯を作る機会が増えていまして、様々な料理にチャレンジしています。最近チャレンジした料理だと豚の角煮、アスパラの肉巻きなどのお肉料理、子供が大好きなグラタンやドリアなども作ってみました。自称カレーの達人としても、子供たちと一緒にカレー作りをして料理を通して親子の絆を育てています。今では子供たちは1人でカレーを作れるようになり、わたしたち家族に振舞ってくれるまでになりました。大変嬉しいことです。

私の料理も家族にはなかなか好評で、おいしいおいしいと食べる姿をみるだけで嬉しくなり、次の創作意欲がふつふつと湧いてくるのですが、今は野菜が非常に高いですね。8月の豪雨の影響らしく、お盆前の値段よりも2倍以上の値がついている野菜もあるほどです。

私は板室街道沿いのフーリスト花子という花屋を営んでいるのですが、花も野菜と同じく値段が高騰しています。それでも私どもの花屋では極端な値上げはせず、お客様にはいつもどおりのお花が提供できるように努力しております。花に関することはなんでもやっております。お困りごとがありましたら、いつでもご相談いただければと思います。お待ちしております。

皆様の社業にも多大な影響を与えているであろうコロナウイルス感染症ですが、冠婚葬祭という部分で私どもの社業も大変な状況が続いています。結婚式は今年になっても行える状況になく、昨年、今年とブライダル関係の仕事は数件にとどまっております。ブライダル関係の仕事をしている方とお話する機会も多いのですが、コロナが落ち着いたとしてもこれまでどおりの形で結婚式を行うことはない、親族のみで行う披露宴が主流になるとよく耳にします。葬儀でも同じように家族葬が主流になってくるのではないかと個人的には思うところです。

しかし、私どもは吉光寺さんに非常にお世話になっているのですが、吉光寺さん率いる八州会館さんではそんな感じは全くありません。おいしい精進料理、キャバ数無限の会館、素晴らしいスタッフの方々、有終の美を飾るなら間違いなく八州会館で間違いなしです。出入りする業者として吉光寺さんにゴマをすっているわけでは決してございません。今後とも八州会館を是非ともよろしくお願い致します。

前置きが長くなり、大変申し訳ありません。ここからは私が所属している黒磯那須青年会議所、通称JCについてお話をさせていただきます。

わたしは26歳のときに、やはりこの時も吉光寺

さんに声をかけてもらい、JCに入会をさせていただきました。

私は地元が那珂川町でこの那須塩原市には知人もいなかったの、とてもいい機会だと思いき、すぐに入会を決めたと記憶しています。

頼りになる先輩たちに囲まれながら特に何を気にするわけでもなくJCライフを送っていたのですが、この時にお酒のたしなみも一緒に教えていただきました。おかげで今では毎日お酒を飲むほど私の生活にはなくてはならないものになりました。今日の夜はこのような、皆様の前でお話をするといういい機会に恵まれ、この素晴らしい経験を家族と共有することでおいしいお酒が飲めると思っております。

そんなこれまでは特に何も考えていなかったJCライフが私の中で明確に変わったのが入会して8年目のことで、黒磯那須を飛び越えて栃木県の委員長という大役を担う時でした。2018年度理事長が吉光寺理事長で、やはりこの時も私に県の委員長に指名してくれたのが吉光寺さんでした。この那須塩原市に来てから節目で刺激を与えてくれるのが必ず吉光寺さんで、仕事にプライベートにお世話になりっぱなしだと、この文章を書いている時に改めて気付かされました。県の委員長を一年間通して、修練、奉仕、友情の3信条があるのですが、その3つの信条のもとJCというものを初めて理解し、理解した上で活動・運動をすることで、栃木県が抱える問題に立ち向かうことができるようになったり、県内に様々な仲間ができ、ともに同じ方向を向いて活動を行える仲間が増えたことが私の中で財産となっております。

JCは年齢制限があり、20歳から40歳までしか活動することができないので、私も残り2年悔いのないよう卒業を迎えたいと思います。40歳で卒業を迎えるというところでメンバーの出入りがどうしても大きくなり、メンバー数向上が毎年の課題となっている現状です。皆様の会社で20代、30代の後継者や幹部候補生がいましたら、是非ご紹介いただき、見学だけでもしていただけたら幸いです。

私がJCを通してまちづくりを行おうと考えた時に、この地域が抱える問題はJCだけでなく、地域を巻き込んで課題解決の糸口を探っていくことが非常に重要だと考えています。行政や他団体の方たちとパートナーシップを組んでいくことで10の力は100になると日々考えています。来年私は黒磯那須青年会議所の理事長という大役を仰せつかることとなりました。来年はパートナーシップというところで、積極的に人と人とを

繋ぐ運動を行ってまいりたいと思っております。人には様々な色があって、人が集まり、交じり合うことで色は多彩になります。この地域を巻き込み、地域とともに様々な色で彩っていきたくと考えております。

具体的にお話をすると、来年はパートナーシップ以外にも少年育成として子供たちの主体性を養い、夢や希望、目標に向かっていこうとする姿勢を高めて、どのような状況でもめげずに希望を持ち続けることと、周囲と協調し助け合うことのできる精神性を育て、コミュニケーションにおいて臨機応変に対応できる青少年育成を行っていきます。

そしてわたしたちが住み暮らすこの地域の問題点の1つにあげられる生産年齢人口の減少問題にスポットを当てて、晩婚化や出生率の低下を抑制するための事業を行い、持続的に発展し続ける地域を創造するための運動を行っていきたく思っています。

さらに、来年は花火大会の年になります。2020年度に開催予定であった花火大会ですが、まだ花火を打ちあげられるかどうかは分かりませんが、今現在も計画は遂行中で、もし花火を打ち上げることができれば、那須塩原市、那須町の青年部とともに「このまちの将来を託す子供たちに夢と感動を与えるために」「このまちが心から愛せるふるさとであるために」「このまちが明るく心豊かなまちであるために」この3つの理念を胸に、さらに2020年度の思いを乗せて華やかに夜空を照らしたいと思っております。

最後になりますが、このような成長の機会を与えてくださった荒巻会長をはじめとする黒磯ロータリークラブの皆様、ありがとうございました。そしてお誘いいただきました吉光寺さん、これからも私にいい刺激を与えていただければと思いますので今後ともどうぞよろしくお願い致します。緊急事態宣言が解除されたら是非飲み連れさせて頂いて下さい。

先程お話ししたとおり、私はJCをあと2年で卒業します。2年後、3年後には、ぜひ私も黒磯ロータリークラブさんにお世話になりたいと思っております。皆様とともに活動できる日を楽しみに、ひとまず今はJC活動を全力で行い、コロナ禍で暗いニュースばかりが取り上げられていますが、JC運動でこの地域に明るいニュースを届けられるよう、日々邁進したいと思っております。

入会できる日が来ましたらどうぞよろしくお願い致します。

本日はお招きいただきまして本当にありがとうございました。

9月8日 理事役員会の決定により全員出席扱いとする。

前回8月25日分メイクアップ(敬称略) 無

次回例会

令和3年9月15日

ガバナー補佐訪問

近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野/いとう屋

○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館

0287-36-0028

0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル花月

○金曜日 黒羽/ホテル花月

0287-54-1105

0287-54-1105

会報委員会：吉光寺政雄・鳥居輝一・高木慶一・瀧田雅仁・藤崎善隆